



**2017**  
**株式会社Kosmo World レース事業部**  
**ご協賛企画書**

# ご協賛依頼

## レーシングライダー 秋吉耕佑へのパーソナルスポンサーシップ

秋吉耕佑（あきよし こうすけ）

生年月日 1975年1月12日

出身地 福岡県久留米市

身長 167.5cm

体重 68kg

血液型 RH+A



7歳でポケバイデビュー

93年18歳で九州選手権にデビュー。HSR九州や阿蘇サーキットSPA直入などで玉田誠や故加藤大二郎らと激闘を繰り広げ1995年特別昇格と同時にスズキ入り。2009年ホンダレーシングに移籍。

モータースポーツの人気はますます全国的な広がりを持ってきておりその中でも注目を集めているのが国内ロードレースの最高峰ジャパンスーパーバイク【全日本ロードレース選手権】です。全日本ロードレース選手権はTVチャンネルBS放送BSトゥエルブ（12ch）全国全戦インターネット中継はもちろん、FIM世界耐久選手権シリーズ【鈴鹿8時間耐久ロードレース選手権】は世界100カ国以上15億人に向けて発信されているためグローバルな広告露出展開が見込めるプロスポーツイベントとして成長しています。魅力や注目の要素が盛りだくさんとなり、企業や商品のイメージ向上や信頼性訴求のステージとしてさらに期待されます。その2つのカテゴリーの中に出場し、他にも長年の開発ライダー経験実績もありモノを見極める能力にも長けマシンも世界チャンピオンマシンに導いてました。そんな注目をもったライダーが秋吉耕佑。スポンサーは秋吉耕佑をメインビジュアルとし多くの来場者が訪れる全国のサーキットをプロモーションフィールドとして活用することは勿論サーキット以外でもプロモーション展開が可能になるため結果として多くの価値を生み出します。このような日本を代表するモータースポーツと秋吉耕佑。密接な関係作りを行うことで日本全国のサーキットにご来場されるコアユーザーや各種メディアを通じた一般ユーザーの方々にも御社の業務活動の更なる認知度拡大やイメージアップが図られることと考えます。

# 戦績 (A) 全日本選手権

## JSB (ジャパンスーパーバイク)

- 1993年 ロードレース九州選手権 SP250クラス参戦
- 1994年 ロードレース九州選手権 SP250クラスシリーズ2位
- 1995年 全日本ロードレース選手権 GP250クラスシリーズ24位 (スズキ・RGVγ250)
- 1996年 全日本ロードレース選手権 GP250クラスシリーズ11位 (スズキ・RGVγ250)
- 1997年 全日本ロードレース選手権 SBクラスシリーズ10位 (スズキ・GSX-R750/ラッキーストライク・スズキ)
- 2005年 全日本ロードレース選手権 JSB1000クラスシリーズ11位 (スズキ・GSX-R1000/ヨシムラ・スズキ)
- 2006年 全日本ロードレース選手権 JSB1000クラスシリーズ4位 (スズキ・GSX-R1000/ヨシムラ・スズキ)
- 2007年 全日本ロードレース選手権 JSB1000クラスシリーズ17位 (スズキ・GSX-R1000/WINs SUZUKI R.T)
- 2008年 全日本ロードレース選手権 JSB1000クラスシリーズ5位 (スズキ・GSX-R1000/ヨシムラスズキwithJOMO)
- 2009年 全日本ロードレース選手権 JSB1000クラスシリーズ10位 (ホンダ・CBR1000RR/F.C.C.TSR Honda)
- 2010年 全日本ロードレース選手権 JSB1000クラスシリーズチャンピオン (ホンダ・CBR1000RR/F.C.C.TSR Honda)
- 2011年 全日本ロードレース選手権 JSB1000クラスシリーズチャンピオン (ホンダ・CBR1000RR/F.C.C.TSR Honda)
- 2012年 全日本ロードレース選手権 JSB1000クラスランキング4位 (ホンダ・CBR1000RR/F.C.C.TSR Honda)
- 2013年 全日本ロードレース選手権 JSB1000クラスランキング6位 (ホンダ・CBR1000RR/F.C.C.TSR Honda)
- 2013年 スーパーバイク世界選手権第4戦スポット参戦しレース1=14位 レース2=リタイア パタ・ホンダ・ワールドスーパーバイクホンダ・CBR1000RR
- 2014年 全日本ロードレース選手権 JSB1000クラスランキング23位 (ホンダ・CBR1000RR/F.C.C.TSR Honda)
- 2015年 全日本ロードレース選手権 JSB1000クラスランキング8位 (ホンダ・CBR1000RR/au & テルル・Kohara RT)
- 2016年 全日本ロードレース選手権 JSB1000クラスランキング11位 (ホンダ・CBR1000RR/au&テルル・Kohara RT)



# 戦績 (B) 世界選手権 ①

## MOTO GP

2006年 ロードレース世界選手権MotoGPクラス第15戦にスポット参戦し13位。  
・シリーズ順位21位 (スズキ・GSVR)

2007年 ロードレース世界選手権MotoGPクラス第2戦にスポット参戦し13位。 (スズキ・GSVR)

2007年 ロードレース世界選手権MotoGPクラス第15戦にスポット参戦リタイア。 (スズキ・GSVR)  
(予選13位から強豪を抑え4位走行中マシントラブルリタイア)

2008年 ロードレース世界選手権MotoGPクラス第15戦にスポット参戦しリタイア。 (スズキ・GSVR)

2010年 ロードレース世界選手権MotoGPクラス第6戦にスポット参戦し15位。 (ホンダ・RC212V)

2010年 ロードレース世界選手権MotoGPクラス第7戦にスポット参戦し13位。 (ホンダ・RC212V)  
・シリーズ順位20位。 (ホンダ・RC212V)

2011年から2014年まで世界チャンピオンマシンに貢献

2011年 ロードレース世界選手権MotoGPクラス第7戦にスポット参戦し13位。 サンカルロ・ホンダ・グレシーニから参戦。  
(ホンダ・RC212V)

ロードレース世界選手権MotoGPクラス第15戦にスポット参戦し12位。 LCRホンダMotoGPから参戦。  
(ホンダ・RC212V)

2015年 ロードレース世界選手権MotoGPクラス第15戦にスポット参戦し19位。 ABモトレーシングから参戦。 (ホンダ・RC213V-RS)



# 戦績 (B) 世界選手権 ②

## 鈴鹿 8 時間耐久ロードレース

開催年	バイク	チーム	パートナー	総合順位
1996年	スズキ・GSX-R750	ギャッツビー・レーシング	山口直範	17位
1997年	スズキ・GSX-R750	ラッキーストライク・スズキ	藤原克昭	43位
2007年	スズキ・GSX-R1000	ヨシムラ・スズキ with JOMO	加賀山就臣	<b>1位</b>
2008年	スズキ・GSX-R1000	ヨシムラ・スズキ with JOMO	加賀山就臣	4位
2009年	ホンダ・CBR1000RRW	F.C.C.TSR Honda	伊藤真一	9位
2010年	ホンダ・CBR1000RRW	F.C.C.TSR Honda	ジョナサン・レイ	3位
2011年	ホンダ・CBR1000RRW	F.C.C.TSR Honda	伊藤真一/清成龍一	<b>1位</b>
2012年	ホンダ・CBR1000RRW	F.C.C.TSR Honda	ジョナサン・レイ/ 岡田忠之	<b>1位</b>
2014年	ホンダ・CBR1000RRW	F.C.C.TSR Honda	ジョナサン・レイ/ ロレンツォ・ザネッティ	40位
2016年	ホンダ・CBR1000RR	au&Teluru・Kohara RT	大久保光/ダミアン・カドリン	10位



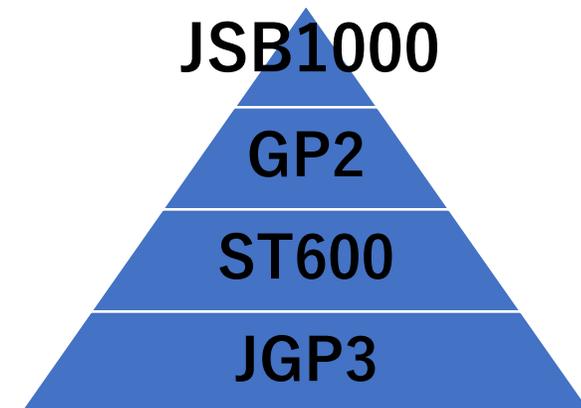
# ジャパンスーパーバイク JSB1000とは

## 国内モータースポーツの最高峰

国内最高峰のバトルが繰り広げられるプレミア・クラス！JSB1000クラスは日本のホンダ、ヤマハ、スズキ、カワサキ、イタリアのドゥカティ、アプリリア、ドイツのBMWといった国内外の最新リッタースーパーバイクがエントリー。いずれも約200馬力を発揮する各メーカーの威信をかけたハイパフォーマンスとなっており、そのモンスターをライディングし世界レベルのテクニックを持つトップライダー達がハイレベルな戦いを繰り広げています。その迫力はまさに国内最高峰という言葉がふさわしいものです。日本最大のロードレースとして有名な鈴鹿8時間耐久ロードレースに直結しているクラスでもあります。排気量は4ストローク4気筒は600ccから1000cc、3気筒は750ccから1000cc、2気筒は850ccから1200ccとなっており、それぞれ最低重量が3、4気筒は165kg、2気筒は170kgと最低重量が決められています。またコストの高騰を抑えるために上位6位に入賞した車両に対して部品の買収制度、タイヤについては使用本数の制限が設定されています。

市販状態に近いマシンにも関わらず世界レベルのテクニックをもつ全日本のトップライダーたちにかかれば驚異的なラップタイムをマークします。国内最速のライダー達が大量マシンを駆り繰り広げるバトルは必見！国内最高峰の迫力がここにあります！最高速度は305キロ。バンク角度61度ちなみに車は1.5トンで180馬力。

## ジャパンスーパーバイク



# 世界選手権MOTO GPとは

## MOTOGP

選手権のトップカテゴリー。  
2012年シーズンから1000ccに拡大された。実施されたCRTでは市販車ベースの物が認められ、タイヤは2016年よりミシュランにスイッチされる。2016年現在出場しているのはヤマハ、ホンダ、スズキ、ドゥカティ、アプリリアの5メーカーと、ワークスマシンの貸与等を受けられるサテライトチームとなっている。基本はワークスマシンで市販されていないバイク。各メーカーが技術の推移を集めこの世で一番早いオートバイレース。最高速度356キロから90キロまで落とす距離が150メートル。約1秒で減速をする。コーナリングバンク角度は最大65度。300馬力重量160キロ。



# 世界選手権8時間耐久レースとは

夏の鈴鹿を彩る名物レースの一つで、名前の通りオートバイによる8時間の耐久レースである。2016年現在は午前11時30分にスタートし、日暮れから日没をまたいで終盤はナイトレースとなり、午後7時30分を過ぎた直後にトップのチームがゴールラインを通過した時点で終了となる。

1978年から開催され、1980年からは世界耐久選手権レースのひとつとして組み込まれ、特に1980年代から1990年代初頭は日本のバイク人口のピークと相まって大いに盛り上がった。当時の鈴鹿市の人口は約14万人だが、1990年の決勝レースはそれをはるかに上回る16万人の観客動員を記録、さらに大会期間中の延べ入場者数は36万8,500人を記録した。その頃に比べ二輪車販売が減少した今もなお、ロードレース界における夏の風物詩として国内有数の集客を誇るモータースポーツイベントである。

1984年より日本コカ・コーラが冠スポンサーとなっている。世界を目指す若手ライダーの登竜門的な存在。8耐はさながら「レーシングライダー世界一決定戦」とも言うべき活況を呈している。



# 2016年観客動員数と主な媒体

## 観客動員数（2016年）

JSB		予選	決勝
第2戦	鈴鹿	22000人	27000人
第3戦	茂木	5200人	7000人
第5戦	SUGO	2000人	3700人
第6戦	茂木	12000人	16500人
第8戦	岡山	3000人	5500人
第9戦	鈴鹿	10500人	15000人

8時間耐久	予選/決勝	決勝
7/28	10000人	
7/29	15000人	
7/30	35000人	
7/31		124000人

第4戦、第7戦オートポリスは震災の影響で中止。第1戦筑波はJGP2・3、ST600のみ。

鈴鹿市の人口現在20万人に対して決勝最終日は12万人以上の人が集まる。

放送媒体		出版媒体	
●主なTV	◆BS12 ◆Ustream	●主な新聞	東京中日スポーツ
		●主な専門誌	ライディングスポーツ、RIDERS CLUB、Moto NAVI、モトチャンプ、ヤングマシン

# 御社マーケットの適合性

レースフィールド

## 来場者構成

レース好き  
バイク好き  
キャンギャル・ドライバー好き

お客様は20歳代前半から  
50歳代後半のファミリー・カップル・友達  
同士など

## 秋吉耕佑をプロモーションに活用



レーシングバイク  
(御社名や商品名露出)



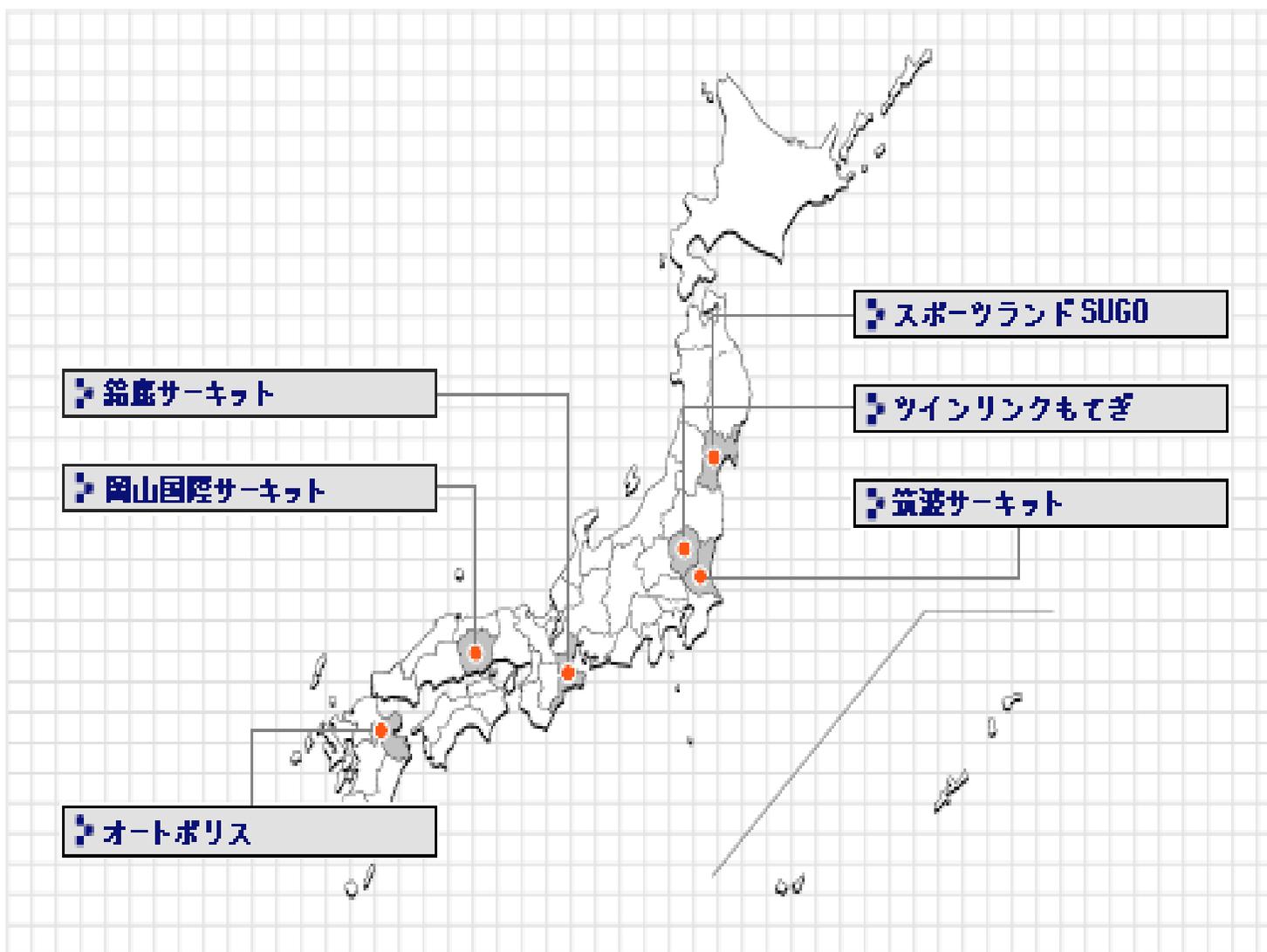
秋吉耕佑 (スーツヘルメットに  
御社名や商品露出)

## 各媒体への商品名露出

御社名や商品名を下記媒体に露出することにより、来場者の方々やメディアを通じた一般の方へのアプローチが可能となり、その結果、新規顧客の獲得が図れる。

# 2017年スケジュールと開催サーキット

第1戦 4/8(土) - 9(日)	茨城・筑波
第2戦 4/22(土) - 23(日)	三重・鈴鹿
第3戦 5/13(土) - 14(日)	宮城・SUGO
第4戦 6/10(土) - 11(日)	栃木・もてぎ
第5戦 6/24(土) - 25(日)	大分・オートポリス
第6戦 8/19(土) - 20(日)	栃木・もてぎ
第7戦 9/9(土) - 10(日)	大分・オートポリス
第8戦 9/30(土) - 10/1(日)	岡山・岡山国際
第9戦 11/4(土) - 5(日)	三重・鈴鹿
8時間耐久レース 7/27(木) - 30(日)	鈴鹿



# ご協賛内容

## 1.期間

2017年1月～12月（レース期間4月～11月）

## 2.内容

### ①御社名、商品名の露出展開

レーシングバイク、スーツ、ヘルメットに御社ステッカー又はワッペンの貼付

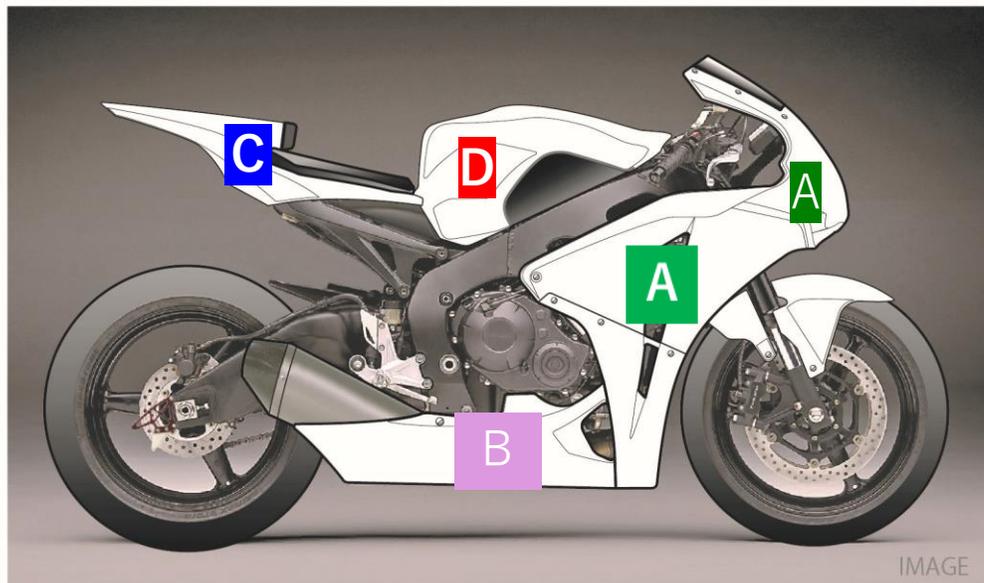


### ②イベント広告展開、その他

- レーシングライダーをプロモーション用に活用  
御社が開催するイベント、発表会などに、出演させることが可能な為、話題性や信頼性が獲得できます。
- 広告媒体や販促物に活用  
レーシングカー、ドライバーなどの肖像使用が可能。  
新たなターゲット層へのアプローチができます。
- グランドスタンド観客席、チケットの確保、御社関係者並びに  
お客様をサーキットへご招待いたします。



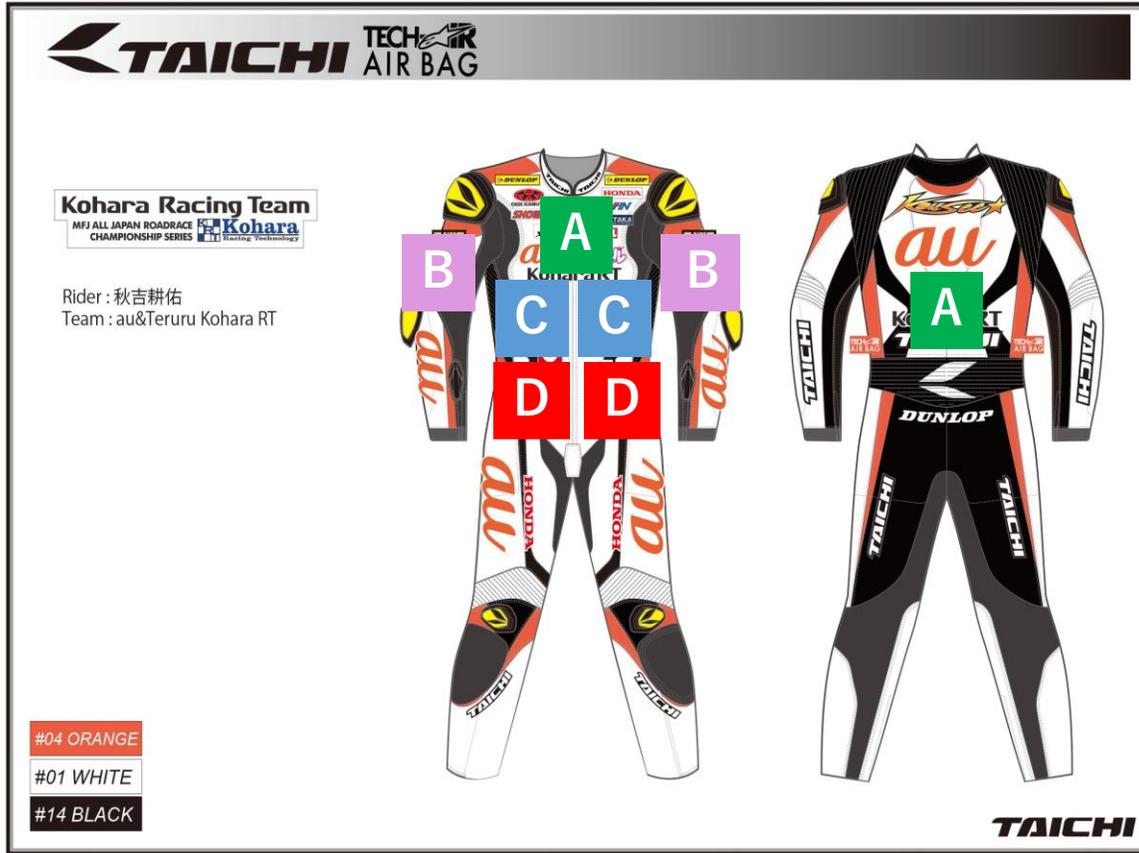
# 概算見積（レーシングバイク）



場所	御社名掲出場所	セット	金額
A	アッパーカウル サイドカウル	左右	¥3,000,000
B	アンダーカウル	左右	¥2,000,000
C	シートカウル	左右	¥1,000,000
D	タンク	左右	¥1,000,000



# 概算見積（レーシングスーツ、ヘルメット含む）



場所	御社名掲出場所	セット	金額
A	胸、背中	前、後	¥3,000,000
B	肩	左、右	¥2,000,000
C	お腹上段	前のみ	¥1,000,000
D	お腹下段	前のみ	¥500,000



# Home Page

## 秋吉耕佑オフィシャルサイト

<http://www.kosuke64.com/index.html>

ホームページ中で関連HPへのリンクや他媒体へのプロモーション及びプロデュース活動を積極的に行っていくことにより、知名度アップ、ファン層の拡大へと結びつけていく活動を行っています。

A screenshot of the official website for Kosuke Akiyoshi. The main image shows a motorcycle race with the number 090. The website has a navigation menu with links for Home, Race, Profile, Photography, Blog, Staff Blog, Sponsor, Link, and Contact. Below the navigation menu are several sections: Blog, Staff Blog, Race, Photography, Profile, and Sponsor. The website also features logos for Kabuto, T.T. FISH MACHIN, TSR TECHNICAL SPORTS, alpinestars, SAKAE CLINIC, and DUNLOP. The footer contains copyright information and a disclaimer.

Kosuke Akiyoshi Web site

Home Race Profile Photography Blog Staff Blog Sponsor Link Contact

Blog Staff Blog Race Photography Profile Sponsor

athlete yell ファンが力がアスリートを強くする！  
オンライン後援会で選手をサポート

Kabuto T.T. FISH MACHIN TSR TECHNICAL SPORTS alpinestars SAKAE CLINIC DUNLOP

Powered By

© 2017 Kosuke Akiyoshi. All rights reserved.  
本ホームページの文章、画像、その他ファイルは許可無く配布、掲載することを禁じます。 POWERED BY BUSINESS  
RALLIART INC.

# JSB Race Photo



# Moto GP Photo



# 8時間耐久レース Photo

